第２号様式
局進行表

業務運営進行表

（平成28年４月１日～平成29年３月31日）

局名	スポーツ局

Ⅰ　業務概要

スポーツ局は、教育委員会で所管していたスポーツ行政（学校体育関係を除く）のほか、高齢者スポーツや障害者スポーツ、ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックなどのスポーツ関連施策を集約して、スポーツ行政をより効果的・一体的に進めることを目的に平成28年４月に発足しました。

総務室、スポーツ課、オリンピック・パラリンピック課の１室２課から構成されており、主な業務は次のとおりです。

- 議会や局予算に係る企画調整、局内の人事や経理など総務に係る業務
- スポーツに関する指導・助言やスポーツ施設の整備・管理、スポーツ指導者の研修、スポーツ関係団体の育成等に係る業務
- ラグビーワールドカップ2019の開催及び普及・啓発に係る業務
- 東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技江の島開催及び同競技の普及・啓発に係る業務
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプに係る業務

Ⅱ　支出の状況

（単位：千円）

			第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	出納整理期間	累計
事業経費	項目	(再)配当額	支出済額					
	事業費	712,565	163,154	271,392	117,922	81,308	61,525	695,301
	維持管理費	27,559	22,708	1,068	533	3,229	21	27,559
	計	740,124	185,862	272,460	118,455	84,537	61,546	722,860
人件費（注１）			199,035	267,543	214,135	150,116		830,829
合計			**384,897**	**540,003**	**332,590**	**234,653**	**61,546**	**1,553,689**

（注１）人件費には職員数に共済費及び退職手当の平均単価を乗じて算出した共済費相当額（事業主負担分）及び退職手当相当額が含まれています。
（注２）所属進行表の額を集計しているため、各計欄は一致しない場合があります。

Ⅲ　職員配置状況

	区分	４月１日	７月１日	10月１日	１月１日
配置職員数	常勤職員	72	72	75	75
	上記以外の職員	5	5	5	7
	計（人）	77	77	80	82

（注１）常勤職員72人の内、３人は市及び団体への派遣職員です。
（注２）常勤職員72人の外、市からの派遣職員２人が配置されています。

Ⅳ　業務実施状況

１　組織力向上に向けた環境づくり

項目	実績・進捗状況	
家事・介護等と仕事の両立を図る「イクボス」の取組み等を通じて、ワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、不祥事防止に向けた研修等を実施し、職員の意識を向上させ、風通しの良い職場環境づくりに努めます。	第１四半期	局長自らがイクボス宣言をすることにより、局内職員のワーク・ライフ・バランスへの意識向上を図りました。また、局発足に伴い、不祥事防止会議の設置や平成28年度不祥事防止対策実施方針の策定を行いました。併せて局内各所属へ不祥事防止対策の実施の周知を行いました。
	第２四半期	ワーク・ライフ・バランスの推進に向け、ノー残業デーの日に幹部職員からの声かけにより、定時退庁に努めました。また、所属職員向けに不祥事防止に係る研修を実施しました。（研修実施回数：１回（７月））
	第３四半期	ワークスタイルの見直しを行い、職員一人一人が全庁のノー残業デー以外に毎月２日以上、定時退庁する日を定めること、打合せは勤務時間内に終わらせること、19時までの消灯励行など新たにルールを定め、ワーク・ライフ・バランスのより一層の推進に向けて取り組みました。
	第４四半期	これまでのワークスタイルの見直しに伴う取組みに加えて、朝夕ミーティングを実施し、残業の有無や必要性等について職員間で共有を図るとともに、各職員がプレミアムデーを設定することにより、毎月２日以上の年休取得や定時退庁を促すなど、職員の働き方改革に関して一層の推進を図りました。

２　新たなスポーツ推進計画の策定

項目	実績・進捗状況	
新たなスポーツ推進計画の策定	第１四半期	新たなスポーツ推進計画について、今年度中の策定を目指し、６月の平成28年第２回県議会定例会において報告しました。
	第２四半期	新たなスポーツ推進計画の素案を作成し、市町村や、関係団体に意見を聞くとともに、８月の神奈川県スポーツ推進審議会、９月の平成28年第２回県議会定例会において報告しました。
	第３四半期	新たなスポーツ推進計画の素案について、県民意見反映手続（パブリック・コメント）を実施するとともに、修正素案を作成し、12月の平成28年第３回県議会定例会において報告しました。
	第４四半期	これまでの検討を踏まえ最終案として、平成29年３月に神奈川県スポーツ推進計画「エンジョイ・スポーツ！　かながわプラン」を策定しました。

３　「ラグビーワールドカップ2019」の成功に向けた機運の醸成

項目	実績・進捗状況	
「ラグビーワールドカップ2019」の成功に向けた機運の醸成	第１四半期	小田原市及び横浜市（共同開催）で、ラグビーワールドカップの普及啓発イベントを実施しました。
	第２四半期	横浜市（共同開催）の日産スタジアムで、トップリーグの試合を誘致したほか、小田原市、厚木市及び横浜市で普及啓発イベントを実施しました。
	第３四半期	横浜市（共同開催）でストリートラグビーを実施したほか、小田原市や相模原市で普及啓発イベントを実施しました。
	第４四半期	横浜市（共同開催）で決勝戦1000日前イベントなど、普及啓発イベントを実施しました。

4　「かながわパラスポーツ」の地域への拡大

項目	実績・進捗状況	
「かながわパラスポーツ」の地域への拡大	第１四半期	庁舎公開やファミリー・コミュニケーション・フェスティバル等のイベントでパラスポーツの紹介・体験を実施しました。
	第２四半期	市町村のイベントで実施されるパラスポーツ体験会に、競技指導者を派遣しました。
	第３四半期	「かながわパラスポーツフェスタ2016」を大和市、藤沢市（共催）で開催するとともに、市町村のイベントで実施されるパラスポーツ体験会に、競技指導者を派遣しました。 また、身近な地域で「かながわパラスポーツ」を普及推進する「かながわパラスポーツコーディネーター」の養成会を開催しました。
	第４四半期	市町村のイベントで実施されるパラスポーツ体験会に、競技指導者を派遣しました。 また、身近な地域で「かながわパラスポーツ」を普及推進する「かながわパラスポーツコーディネーター」の養成会を開催するとともに、コーディネーターに必要な知識をまとめた「かながわパラスポーツコーディネーターガイドブック」を発行しました。

5　東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技開催に向けた取組

項目	実績・進捗状況	
神奈川県会場プラン（調整素案）をもとに、組織委員会や競技団体など関係機関との調整、湘南港利用者の意向の聴取を進め、競技開催に係る諸課題の解決に向けた方向性を整理し、2018年度以降の具体的な取組事項を可能な限り明確化します。	第１四半期	神奈川県会場プラン（調整素案）をもとに、大会組織委員会との調整を進めました。併せて、湘南港利用者や漁業関係者等との調整も進めました。
	第２四半期	リオデジャネイロオリンピック競技大会を視察し、国際セーリング連盟会長との面会、各国セーリング関係者向けの説明会を行いました。また、湘南港利用者、葉山港利用者へ艇の移動に関する説明会を行いました。
	第３四半期	東京2020大会開催に向けた役割分担・費用負担に関する要請を東京都及び大会組織委員会に対し行いました。また、漁業者向けの説明会を行い、湘南港利用者向けに艇の移動に関する窓口を開設しました。
	第４四半期	組織委員会、東京都、国、関係自治体と役割分担・費用負担の協議を行いました。 また、漁業関係者との調整を引続き実施するとともに、第３回の湘南港利用者説明会を開催しました。

6　東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ誘致に向けた取組

ホームページによる情報発信の充実に加え、競技団体・オリンピアン等を通じた関係づくり国大使館・競技団体への働きかけなどにより、県内市町村への事前キャンプ誘致を図ります。

項目	年間目標	各四半期末実績（単位:件）				
		第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	累計
海外競技団体等の視察獲得件数	20	5	0	10	9	24
（前年度実績）	10	3	1	3	1	8

Ⅴ　業務運営に関する評価

局長評価	第１四半期	新たなスポーツ推進計画の策定に着手するとともに、「ラグビーワールドカップ2019」の成功に向けた機運の醸成及びかながわパラスポーツの普及啓発イベント等を実施し、計画的に業務運営をしてまいりました。 オリンピック・パラリンピックに関しては、セーリング競技の江の島開催に向け、各種関係団体と調整を進める一方で、セーリング競技の魅力を発信し、積極的に機運醸成を図りました。 新局が立ち上がったばかりですが、各業務とも良いスタートが切れたと考えています。今後も引き続き、業務の推進に取り組んでまいります。
	第２四半期	ラグビーワールドカップ2019に向けて、ラグビートップリーグの試合誘致や県内各地で普及啓発イベントを実施するなど、機運醸成を図りました。 また、リオデジャネイロオリンピック競技大会の視察や国際セーリング連盟会長との面会、各国セーリング関係者向けの説明会を行うなど、東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技の江の島開催に向けての準備を進めました。 各業務とも第１四半期に続き、各目標の達成に向けて着実に業務運営できていると考えています。今後より一層の業務推進に取り組んでまいります。
	第３四半期	ラグビーワールドカップ普及啓発イベントを県内各地で実施し、かながわパラスポーツについては、新たに「かながわパラスポーツコーディネーター」の養成会を開催するなど、様々な面からスポーツに対する理解向上や普及啓発に努めました。 セーリング競技開催に向けた取組としては、東京都及び大会組織委員会への役割分担・費用負担に関する要請や漁業者向けの説明会の実施、湘南港利用者向けの艇の移動に関する窓口の開設など、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、関係者との調整を着実に進めました。また、事前キャンプ誘致についても年間目標の達成に向けて、大きく実績を伸ばすことができました。 局内部の取組として、ワークスタイルの見直しを行うなど、職員がそれぞれの業務に専念できるよう、職場環境の改善に努めました。 各業務とも着実に推進することが出来ているものと考えます。平成28年度も残すところ、あと３ヶ月となりましたが、目標達成に向けて一層邁進してまいります。

	第４四半期	ラグビーワールドカップ2019に向けた決勝戦1000日前イベントの実施やパラスポーツ体験会への競技指導者派遣など、第４四半期も精力的にスポーツ振興にかかる普及啓発活動を行いました。 東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技開催に向けては、引き続き漁業関係者との調整を進めるとともに、第３回の湘南港利用者説明会を開催しました。また、組織委員会、東京都、国、関係自治体と役割分担・費用負担の協議を行うなど、着実に準備を進めてまいりました。 働き方改革の取組みとしては、朝夕ミーティングの実施やプレミアムデーの設定により、毎月２日以上の年休取得や定時退庁を促すなど、職員のモチベーション及び仕事の生産性の向上に努めました。 スポーツ局の立ち上げから１年間、各業務について着実に実施してまいりました。次年度も、本年３月に制定されたスポーツ推進条例やスポーツ推進計画に沿って、多様なスポーツ施策を精力的に展開してまいります。
	総合評価	スポーツ推進計画の策定、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会やラグビーワールドカップ2019の成功に向けた各種普及啓発イベントの実施など、多角的にスポーツ施策の推進に努めました。平成29年度も引き続き、積極的に事業を展開しつつ、コスト意識をもって業務運営に取り組んで参ります。

連絡先（電話番号）	総務室総務経理グループ（045-285-0799）